


履 歴 書

平成 30 年 4 月 1 日現在

| | | | | |
|---------|------------------------------|----------------------------|---|--|
| フリガナ | オオサキ ハナコ | |  | <p>写真貼付</p> <p>1. 縦4cm×横3cm</p> <p>2. 上半身</p> <p>3. 最近 3 ヶ月以内に撮影したもの</p> |
| 氏名(本名) | 大崎 花子 | | | |
| 英字 | OOSAKI Hanako | | | |
| フリガナ | タチバナ ハナコ | | | |
| 氏名(通称等) | 橘 花子 | | | |
| 英字 | TACHIBANA Hanako | | | |
| | 昭和 平成 | ●● 年 ● 月 ● 日生 (満 ●● 歳) | 性別 男・女 | |
| フリガナ | トウキョウト シナガワク オオサキ | 電話(自宅) : 03-●●●●●●-●●●●●● | | |
| 現住所 | 〒141-8602 東京都品川区大崎 4-2-16 | 電話(携帯) : 090-●●●●●●-●●●●●● | | |
| | | E-mail : ●●★@ris.ac.jp | | |

1. 学歴

(高等学校より記入)

| 年 月(和暦) | 学 校・学 部・学 科・専 攻 名 |
|---------|---------------------------------|
| 平成○年○月 | 東京都立○○○○高等学校 卒業 |
| 平成○年○月 | ○○大学○○部○○科 入学 |
| 平成○年○月 | ○○大学○○部○○科 卒業 |
| 平成○年○月 | ○○大学大学院○○研究科○○専攻修士課程 入学 |
| 平成○年○月 | ○○大学大学院○○研究科○○専攻修士課程 修了 |
| 平成○年○月 | ○○大学大学院○○研究科○○専攻博士後期課程 入学 |
| 平成○年○月 | ○○大学大学院○○研究科○○専攻博士後期課程 単位取得満期退学 |
| 平成○年○月 | ○○大学大学院○○研究科○○専攻博士後期課程 修了 |
| | |

2. 学位 (学士より記入)

| 学位名 | 取得年月日 (和暦) | 取得大学・機関 | 論文題目 |
|----------|------------|---------|--------------------|
| 学士 (〇〇学) | 平成〇年〇月〇日 | 〇〇大学 | 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 |
| 修士 (〇〇学) | 平成〇年〇月〇日 | 〇〇大学 | 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 |
| 博士 (〇〇学) | 平成△年△月△日 | 〇〇大学 | 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 |

3. 職歴

| 就職年月日 (和暦) | 退職(異動)年月日 (和暦) | 機 関 名 等 | |
|--------------|----------------|--------------------------------|-----------|
| 平成〇年 4 月 1 日 | 平成〇年 3 月 31 日 | 〇〇大学文学部 助手 | 専任・非常勤・併任 |
| 平成〇年 4 月 1 日 | 平成〇年 3 月 31 日 | 〇〇大学教育学部 助手 | 専任・非常勤・併任 |
| 平成〇年 4 月 1 日 | 平成〇年 3 月 31 日 | 日本学術振興会特別研究員 | 専任・非常勤・併任 |
| 平成〇年 4 月 1 日 | 平成〇年 3 月 31 日 | 〇〇〇〇専門学校〇〇学科 非常勤講師 | 専任・非常勤・併任 |
| 平成〇年 4 月 1 日 | 平成〇年 3 月 31 日 | 〇〇大学文学部 非常勤講師 | 専任・非常勤・併任 |
| 平成〇年 4 月 1 日 | 平成〇年 3 月 31 日 | 東京都立〇〇〇総合研究所 主任研究員 | 専任・非常勤・併任 |
| 平成〇年 4 月 1 日 | 平成〇年 3 月 31 日 | 〇〇〇〇大学教育学部 非常勤講師 | 専任・非常勤・併任 |
| 平成〇年 4 月 1 日 | 平成〇年 3 月 31 日 | 〇〇大学文学部 講師 | 専任・非常勤・併任 |
| 平成〇年 4 月 1 日 | 現在に至る | 〇〇〇〇大学人間科学部 非常勤講師 | 専任・非常勤・併任 |
| 平成〇年 〇月〇日 | 平成〇年 3 月 31 日 | 〇〇大学〇〇学部 准教授 | 専任・非常勤・併任 |
| 平成〇年 〇月〇日 | 現在に至る | 〇〇大学〇〇学部 教授 | 専任・非常勤・併任 |
| 平成〇年 〇月〇日 | 年 月 日 | 〇〇大学大学院〇〇研究科 M [Ⓢ] 教授 | 専任・非常勤・併任 |
| 平成〇年 〇月〇日 | 年 月 日 | 〇〇大学大学院〇〇研究科 D [Ⓢ] 教授 | 専任・非常勤・併任 |
| 年 月 日 | 年 月 日 | | 専任・非常勤・併任 |
| 年 月 日 | 年 月 日 | | 専任・非常勤・併任 |
| 年 月 日 | 年 月 日 | | 専任・非常勤・併任 |
| 年 月 日 | 年 月 日 | | 専任・非常勤・併任 |
| 年 月 日 | 年 月 日 | | 専任・非常勤・併任 |
| 年 月 日 | 年 月 日 | | 専任・非常勤・併任 |
| 年 月 日 | 年 月 日 | | 専任・非常勤・併任 |
| 年 月 日 | 年 月 日 | | 専任・非常勤・併任 |
| 現 職 | | 〇〇大学〇〇学部 教授 | |

4. 免許・資格

| 取得年月(和暦) | 取得免許・資格 |
|----------|--------------------------------|
| 平成〇年〇月〇日 | 高等学校教諭一種免許状(公民) (平成〇年高一普第〇〇〇号) |
| 平成〇年〇月〇日 | 中学校社教諭一種免許状(社会) (平成〇年中一普第〇〇〇号) |
| | |
| | |
| | |

5. 賞罰

| 年月日(和暦) | 内容・機関等 |
|----------|------------------|
| 平成〇年〇月〇日 | 平成〇年度日本〇〇学会研究奨励賞 |
| | |
| | |
| | |

6. 学会活動および社会的活動

| 年月～年月(和暦) | 学会・団体の機関名, 役職名等 |
|---------------|---------------------------|
| (学会活動) | |
| 平成〇年4月～現在に至る | 日本〇〇〇〇学会会員 |
| 平成〇年4月～平成〇年〇月 | 日本〇〇〇〇学会会員 |
| 平成〇年4月～現在に至る | 〇〇〇〇会会員 同理事 |
| 平成〇年4月～現在に至る | 日本〇〇〇〇〇学会会員 |
| 平成〇年7月～現在に至る | 〇〇〇〇学会会員 〇〇学会誌『〇〇学研究』編集委員 |
| 平成〇年5月～現在に至る | 〇〇〇〇〇〇研究会会員 |
| 平成〇年2月～現在に至る | 〇〇〇〇〇〇〇学会会員 |
| | |
| (社会的活動) | |
| 平成〇年4月～現在に至る | 〇〇市〇〇審議会委員 |
| 平成〇年4月～平成〇年〇月 | 〇〇講座講師 |
| | |
| | |
| | |
| | |

7. 研究業績

| 著書・論文・学会発表等の別 | 題 名 | 発行又は 発表年月(和暦) | 発行所又は 発表場所 | 掲載書・誌名等 |
|---------------|--|------------------|---------------|-----------------------------------|
| 著書 (単著) | 〇〇〇〇入門 | 平成〇年〇月 | 〇〇出版 | 全 500 ページ |
| (共著) | 第1章 総合学習のためのポートフォリオ 評価、第5章 e ポートフォリオの実践と 課題 (〇〇、〇〇著 学習ポートフォリオ が促す新しい学び) | 平成〇年〇月 | 〇〇書店 | 2-35, 254-284 |
| (共同執筆) | 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 | 平成〇年〇月 | 〇〇社 | 全 500 ページ |
| (共編著) | 第2章 産業カウンセリングの過程と技法 (〇〇、〇〇、〇〇編著 産業カウンセリ ング入門) | 平成〇年〇月 | 〇〇書房 | 61-72 |
| (分担執筆) | 理想の学校を実現するには (〇〇〇〇編 「本当の生きる力」を与える教育とは) | 平成〇年〇月 | 〇〇社 | 233-270 |
| 論文 (単著) | 【査読付】小学生の学校での意欲に関する 研究 | 平成〇年〇月 | 〇〇研究会 | Journal of 〇 〇〇〇, 16, 5- 11 |
| (共著*) | 母親面接に教師が同席することの意義 | 平成〇年〇月 | 〇〇学会 | 〇〇学研究, 66, 14-20 |
| (単著) | 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 | 平成〇年〇月 | 〇〇学会 | 〇〇〇誌, 87, 2- 10 |
| (単著) | 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 | 平成〇年〇月 | 〇〇〇〇 | 〇〇〇〇〇 |
| (共著) | 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 | 平成〇年〇月 | 〇〇〇〇 | 〇〇〇〇〇 |
| (共著) | 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 | 平成〇年〇月 | 〇〇〇〇 | 〇〇〇〇〇 |
| (共著) | 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 | 平成〇年〇月 | 〇〇〇〇 | 〇〇〇〇〇 |
| (単著) | 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 | 平成〇年〇月 | 〇〇〇〇 | 〇〇〇〇〇 |
| (単著) | 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 | 平成〇年〇月 | 〇〇〇〇 | 〇〇〇〇〇 |
| (単著) | 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 | 平成〇年〇月 | 〇〇〇〇 | 〇〇〇〇〇 |
| (単著) | 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 | 平成〇年〇月 | 〇〇〇〇 | 〇〇〇〇〇 |
| (単著) | 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 | 平成〇年〇月 | 〇〇〇〇 | 〇〇〇〇〇 |
| (単著) | 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 | 平成〇年〇月 | 〇〇〇〇 | 〇〇〇〇〇 |
| (単著) | 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 | 平成〇年〇月 | 〇〇〇〇 | 〇〇〇〇〇 |
| (共著) | 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 | 平成〇年〇月 | 〇〇〇〇 | 〇〇〇〇〇 |
| (単著) | 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 | 平成〇年〇月 | 〇〇〇〇 | 〇〇〇〇〇 |
| (単著) | 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 | 平成〇年〇月 | 〇〇〇〇 | 〇〇〇〇〇 |

※行が足りない場合は追加してください。

| 著書・論文・学会発表等の別 | 題名 | 発行又は発表年月(和暦) | 発行所又は発表場所 | 掲載書・誌名等 |
|------------------------|--|-----------------------------|-----------|---|
| 翻訳 (単独訳) | ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○ | 平成○年○月 | ○○出版 | |
| (共訳) | ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○ | 平成○年○月 | ○○社 | |
| | | | | |
| 報告書 (共同) | ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○ | 平成○年○月 | ○○委員会 | 1993 年度○○ ○研究費報告書 |
| | | | | |
| 学会発表 ポスター発表 (単独) | ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○ | 平成○年○月 | ○○大学 | 第 55 回○○○ ○学会 |
| (共同*) | ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○ | 平成○年○月 | ○○大学 | 第 10 回○○○ ○学会 |
| (単独) | ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○ | 平成○年○月 | ○○大学 | 第 25 回○○○ ○学会 |
| (単独) | ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○ | 平成○年○月 | ○○大学 | 第 43 回○○○ ○学会 |
| (共同) | ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○ | 平成○年○月 | ○○○ | ○○○ |
| | | | | |
| 学会発表 口頭発表 (単独) | ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○ | 平成○年○月 | ○○大学 | 第 55 回○○○ ○学会 |
| (単独) | ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○ | 平成○年○月 | ○○○ | ○○○ |
| (単独) | ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○ | 平成○年○月 | ○○○ | ○○○ |
| (単独) | ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○ | 平成○年○月 | ○○○ | ○○○ |
| (単独) | ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○ | 平成○年○月 | ○○○ | ○○○ |
| (共同) | ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○ | 平成○年○月 | Boston | IX International Congress of Psychology. |
| | | | | |
| 科研費 (共同) | ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○ 基盤(C) 課題番号○○○ 配分額 1,000,000 円 代表○○ (○○大学) | 平成 25 年 4 月～ 平成 27 年 3 月 | 日本学術振興会 | |
| (単独) | ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○ 若手(B) 課題番号○○○ 配分額 1,000,000 円 | 平成 20 年 4 月～ 平成 24 年 3 月 | 日本学術振興会 | |
| | | | | |
| 外部資金受給実績 | ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ (20,000,000 円) | 平成○年度 | ○○財団 | |
| | | | | |

※行が足りない場合は追加してください。